

岩手県技能士会会報

Vol.17
2024.7

新任あいさつ

岩手県技能士会会長

菊池 恭二



令和6年度岩手県技能士会通常総会にて、浅学非才の私が重席である会長就任を理事会にて推薦承諾を受け会長職を受けました。

今後皆様方には色々御迷惑等お掛けいたしますが、会員の皆様には宜しく御協力の程お願い申し上げます。又、前会長水口様には技能士会の発展に長い間御尽力され御苦勞様でした。今後も私共に御指導等宜しくお願い申し上げます。

今年も第一回理事会、通常総会が岩手県立産業技術短期大学校で開催され事業報告や決算報告があり無事承認されました事お喜び申し上げます。

現在新型コロナウイルスの感染症も少しずつ減り、通常通りに戻りつつありますが、日本に人口の少子高齢化は止めることが出来ていませんし、今後も技能士の会員数も減少が進むと思われれます。

平成二三年の東日本大震災や、今年正月の能登半島地震のような大きな災害が発生しました。これから災害復旧工事も本格的に始まると思われれます、復旧に際してはどうしても各職種の技能士が必要になります。しかし、このような技能士の減少では復旧の対応が出来ない状況になります。

我々技能士が技術に自信を持って働ける仕事があるはずですが、これからの若い方々にも、国や県が認めている技能資格を取得していただき、各技能士会に入会し、色々な情報を集め、技能士大会等を通じて技能技術の大切さや技能士の地位向上を岩手県や国の方面にも働きかけていきます。

腕に自信を持ち一生技能者として誇りを持ち社会に貢献していきましょう。今年度も当技能士会運営にご協力をお願いいたします。

令和6年度岩手県技能士会通常総会・第1回理事会が開催されました

令和6年6月12日13時、通常総会を、岩手県立産業技術短期大学校大教室で開催しました。総会では、水口勝士会長のあいさつに引き続き、水口会長が議長となり議事に入りました。令和5年度事業報告と決算について事務局から説明があり、承認されました。令和5年度収支決算剰余金の処分について事務局から説明があり、令和6年度に繰り越すことが決まりました。令和6年度事業計画と収支予算などが原案のとおり可決され、限られた予算の中での支援助団体を拡充するため、5年度までの5万円×2団体から2万円×5団体とされました。また、任期満了に伴う役員改選が行われ、会長、副会長が新任となり、菊池恭二新会長の就任あいさつ、本総会での退任する水口会長の退任あいさつの後、閉会しました。

令和6年度事業計画

- 技能士活用促進事業
岩手県技能士大会の開催など
- 技能尊重事業
功労者の表彰、ものづくり体験教室等支援など
- 調査広報活動
会報による技能士活用促進広報
- 諸会議の開催等
総会、理事会、監事会など
- 会員拡大の推進

岩手県技能士会役員

技能士会役職	氏名	会 員 名	区分
会長	菊池 恭二	遠野地区技能士会	新任
副会長	佐藤 正 男	東磐地区技能士会	新任
副会長	伊東 靖	岩手県表具内装技能士会	新任
理事	鈴木 一 史	岩手県技能士会	再任
理事	(後日選任)	盛岡地区技能士会	
理事	岩 潤 清 和	奥州金ヶ崎地区技能士会	再任
理事	菅 原 良 男	一関地区技能士会	再任
理事	菊 池 弘 郎	大船渡地区技能士会	再任
理事	金 清 繁	遠野地区技能士会	再任
理事	佐々木 忠 一	釜石地区技能士会	再任
理事	中小路 啓 二	久慈地区技能士会	再任
理事	浪 岡 清 高 人	二戸地区技能士会	再任
理事	富 樫 清 人	岩手県内装仕上技能士会	再任
監事	高 橋 勇 喜 太	北上地区技能士会	再任
監事	阿 部	岩手県造園技能士会	再任

岩手県技能士会会報 第17号

令和5年度収支決算 収入合計1,609,471円 支出合計803,306円 差引806,165円(6年度へ繰越)

収入の部	予算額	決算額	差異	支出の部	予算額	決算額	差異
1 会費収入	623,000	623,000	0	1 管理費	330,000	374,940	44,940
正会員会費	603,000	603,000	0	(1) 事務局費	250,000	292,782	42,782
賛助会員会費	20,000	20,000	0	(2) 会議費	80,000	82,158	2,158
2 事業収入	230,000	57,010	△172,990	2 事業費	623,000	428,366	△194,634
カード等申請手数料	30,000	57,010	27,010	(1) 技能士活用促進費	300,000	202,154	△97,846
県技能士大会参加料	200,000	0	△200,000	(2) 技能尊重推進費	313,000	216,772	△96,228
3 寄付金収入	1,000	0	△1,000	(3) 調査広報費 会報発行	10,000	9,440	△560
4 雑収入	1,000	8	△992	3 予備費	831,453	0	△831,453
5 前年度繰越金	929,453	929,453	0				
合計	1,784,453	1,609,471	△174,982	合計	1,784,453	83,306	△981,147

令和6年度収支予算

収入の部	予算額	前年予算	増減	支出の部	予算額	前年予算	増減
1 会費収入	557,000	623,000	△66,000	1 管理費	330,000	330,000	0
正会員会費	537,000	603,000	△66,000	(1) 事務局	250,000	250,000	0
賛助会員会費	20,000	20,000	0	(2) 会議費	80,000	80,000	0
2 事業収入	130,000	230,000	△100,000	2 事業費	481,000	623,000	△142,000
証明書等申請手数料	30,000	30,000	0	(1) 技能士活用促進費	300,000	300,000	0
県技能士大会参加料	100,000	20,000	△100,000	(2) 技能尊重推進費	171,000	313,000	△142,000
3 寄付金収入	1,000	1,000	0	(3) 調査広報費 会報発行	10,000	10,000	0
4 雑収入	1,000	1,000	0	3 予備費	684,165	831,453	△147,288
5 前年度繰越金	806,165	929,453	△123,288				
合計	1,495,165	1,784,453	△289,288	合計	1,495,165	1,784,453	△289,288

奥州金ヶ崎地区技能士会講師らが石材加工勉強会開催

受講者からは「祖父の世代に使っていた技法で見たことがあるが、今の若い人でできるのはほとんど残っていないと思う。墓石だけしか扱わない職人は、石工職人ではない。」との声が上がりました。



講師が15本程度2時間で作成しているときに、受講者はノミ1本の成形が終わらない程度のスピードの差があります。「とにかく暑くて力が必要で大変。まだ駄目なの？って感じです。」が受講者の感想です。



5月25日(土)に、志和石材店(奥州市)で、奥州金ヶ崎地区技能士会所属の志和京多氏(石材加工職種)ら講師2名による、石材加工勉強会が開催されました。勉強会では、矢穴技能で使うノミと矢造りが行われ、5名が受講しました。矢穴を掘るためのノミと矢を作るため、鍛冶作業と同じようにコークスを炉で燃やし、その中にノミと矢を数本入れて熱し、適温になれば取り出し、玄能で叩いて成形をしていくもの。

発行日 令和6年7月8日

発行元 岩手県技能士会 028-3615 紫波郡矢巾町大字南矢幅10-3-1 岩手県立産業技術短期大学校内

TEL 019-613-4620 FAX 019-613-4623 E-メール iwate@noukai.com

発行責任者 岩手県技能士会専務理事 鈴木一史